

高校音楽科の授業シラバス

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	音楽 I	高 1	選択必修	60 (他コース) 30 (Sコース)	高校生の音楽 1 教育芸術社	

* 全コース共通で実施

1 学習目標

年間学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
--------	--

2 授業進度

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	① 「Caro mio Ben」「野ばら」「A Whole New World」 ②鑑賞：歌唱教材関連作品「ウェストサイドストーリー」 ③楽典の基礎 ④ハレルヤコーラス	①運動会の歌、ハレルヤコーラス ②音楽会に向けて選択生合唱 ③楽典の基礎	①自由実技
備考			

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価対象・方法	知識・技能	歌唱等実技テスト(ソロ) 楽典小テスト	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 = 3 : 5 : 2
	思考・判断・表現	歌唱等実技テスト(グループ) パフォーマンス評価(課題レポート等)		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価(課題レポート:内容&中長期的変容) 及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	音楽Ⅱ 音楽Ⅰ	高2	選択 選択必修	30(他コース) 30(Sコース)	高校生の音楽2 教育芸術社	

*全コース共通で実施

1 学習目標

年間学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
--------	---

2 授業進度

*なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある

	1学期	2学期	3学期
学習内容	② 「Du bist wie eine Blume」「糸」「Shall we dance?」 ②鑑賞：モーツァルト「魔笛」 ③楽典の基礎 ④ハレルヤコーラス	①運動会の歌、ハレルヤコーラス ②音楽会に向けて選択生合唱 ③楽典の基礎	①自由実技
備考			

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価対象・方法	知識・技能	歌唱等実技テスト(ソロ) 楽典小テスト	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 = 3 : 5 : 2
	思考・判断・表現	歌唱等実技テスト(グループ) パフォーマンス評価(課題レポート等)		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価(課題レポート:内容&中長期的変容)及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	音楽Ⅲ	高3	選択	40	Joy of Music 教育芸術社	

1 学習目標

年間学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方 *なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある 音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
--------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	③ 「アイノカタチ」「ほたるこい」「民衆の歌」「夢やぶれて」 ②鑑賞:歌唱教材関連作品「レ・ミゼラブル」 ③楽典 ④ハレルヤコーラス	①運動会の歌、ハレルヤコーラス ②音楽会に向けて選択生合唱 ③楽典	
備考			

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価対象・方法	知識・技能	歌唱等実技テスト(ソロ) 楽典小テスト	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 = 3：5：2
	思考・判断・表現	歌唱等実技テスト(グループ) パフォーマンス評価(課題レポート等)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価(課題レポート:内容&中長期的変容)及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階		

音楽演習

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	音楽演習	高 3	選択	4 0		

1 学習目標

年間学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。音楽系大学に進学するための基礎力を養う。
--------	---

2 授業進度

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある

	1 学期	2 学期
学習内容	●コールユーブンゲン、コンコーネ 50 番 視唱力をつける。それに必要な発声、呼吸法を学ぶ。コンコーネ 50 番では、交代で伴奏を弾き、その基礎を学ぶ。 ●新曲視唱、聴音練習 入試に必要なレベルの問題練習。 ●実技演習 入試に必要な実技について、演習する。 その他、楽譜の本質と歴史、楽譜をどう読むか、等、音楽を考えることの意味と必要性、音楽を学ぶための基本的知識とその利用法を知る。	1 学期と同じ ●芸人の卵の夕べ：入試での実技試験に向けて、人前での演奏に慣れるための機会として開催。(講堂での演奏会)
備考		

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価対象・方法	知識・技能	歌唱等実技テスト(ソロ・グループ)	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 = 3 : 5 : 2
	思考・判断・表現	歌唱等実技テスト(ソロ・グループ) パフォーマンス評価(課題レポート等)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価(課題レポート：内容&中長期的変容)及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階		

日本の文化

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	日本の文化	高3	選択	14		

1 学習目標

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある

年間学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
--------	---

2 授業進度

学習内容	●日本音楽史概論 日本の音楽の歴史の流れを理解するとともに、日本の音楽文化への理解を深める。 ●伝統芸能鑑賞 雅楽、歌舞伎等を通し、日本の音楽を形作る要素を理解し、多様な音楽を享受できる豊かな感性を培う。 ●和楽器実技演習 箏の音色や独特な奏法を身につけて演奏する。 【外部講師依頼予定】
備考	

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価対象・方法	知識・技能	実技テスト(グループ) パフォーマンス評価(課題レポート等)	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り <u>知識等：思考等：主体的態度</u> <u>= 3：5：2</u>
	思考・判断・表現	実技テスト(グループ) パフォーマンス評価(課題レポート等)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価(課題レポート：内容&中長期的変容)及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階		

芸術特講 I

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	芸術特講 I	高 1	選択	9 0		

1 学習目標

年間 学習 目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。小学校や幼稚園における音楽教育に必要な歌唱、器楽演奏、音楽理論に関する知識や技術を習得する。
----------------	---

2 授業進度

*なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある

	1 学期	2 学期	3 学期
学習 内容	●コールユーブンゲン 視唱力をつける。それに必要な発声、呼吸法を学ぶ。 ●ピアノ実技練習 保育や小学校で学ぶ曲を練習。 ●歌唱実技演習 保育や小学校で学ぶ曲を練習。 ●楽典基礎	1 学期と同じ。 音楽室で弾き歌いを行う。	2 学期と同じ。 講堂で弾き歌いを行う。
備考			

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価 対象・ 方法	知識・ 技能	歌唱等実技テスト(ソロ) 楽典小テスト	評価 基準	知識・技 能	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階	総合 評価・ 評定 の算出	・観点別評価を基 に、各学期 10 段階 で総合評価 ・各学期評価に基 づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比 率は次の通り 知識等：思考等： 主体的態度 ＝ 3 : 5 : 2
	思考・ 判断・ 表現	歌唱等実技テスト(ソロ) パフォーマンス評価(課題 レポート等)		思考・判 断・表現	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階		
	主体的 学習態 度	パフォーマンス評価(課題 レポート:内容&中長期的 変容) 及び「出欠席」		主体的 学習態 度	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階		

芸術特講Ⅱ

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
芸術	芸術特講Ⅱ	高2	選択	90		

1 学習目標

年間学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。小学校や幼稚園における音楽教育に必要な歌唱、器楽演奏、音楽理論に関する知識や技術を習得する。
--------	---

2 授業進度

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	●コールユーブンゲン 視唱力をつける。それに必要な発声、呼吸法を学ぶ。 ●ピアノ実技練習 保育や小学校で学ぶ曲を練習。 ●歌唱実技演習 保育や小学校で学ぶ曲を練習。 ●楽典基礎	1 学期と同じ。 講堂で弾き歌いを行う。	2 学期と同じ。 講堂で弾き歌いを行う。
備考			

3 評価の対象と基準

紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

評価対象・方法	知識・技能	歌唱等実技テスト(ソロ) 楽典小テスト	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 = 3：5：2
	思考・判断・表現	歌唱等実技テスト(ソロ) パフォーマンス評価(課題レポート等)		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価(課題レポート：内容&中長期的変容)及び「出欠席」		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		